

評価項目	配点
	採点基準
①提案された補聴器本体価格(片耳)は適正か	購入費助成額と同価格帯である5点 購入助成額を大幅に超過する・下回る0点
②提案された補聴器を安定的に供給できる体制が整っているか	整っている5点 令和7年4月からは安定的に供給できる3点 整っていない0点
③提案された補聴器は取り扱いが簡単であるか (例:ボリューム有無、ボリューム調整、リモコン有無、装脱着等)	簡単である5点 支給時に説明すれば問題はない3点 使い方が複雑だ0点
④提案された補聴器の性能はどうか (例:指向性の有無、雑音抑制の有無等)	性能がよく事業効果が期待できる5点 どちらともいえない3点 性能がよくない0点
⑤提案された補聴器はヒアリンググループに対応しているか	対応している5点 対応していない0点
⑥介護保険課及び高齢者補聴器無料利用相談協力店にデモ機(試聴機)の貸し出しができるか	貸し出しできる5点 貸し出しできない0点
⑦提案された補聴器の独自PRIについて (例:ケータイアプリ対象、メーカー保証、耳穴タイプ等)	独自PRIによる事業効果が期待できる5点 独自PRIはあるが事業効果が期待できるかは不明である3点 独自PRIはない0点
(事務局審査) ⑧提案された補聴器に関する無料利用相談(区は場所提供のみ)を行うことができるか	週1回無料相談会を実施することができる30点 月1回無料相談会を実施することができる10点 年数回相談会を実施することができる0点
(事務局審査) ⑨高齢者補聴器無料利用相談協力店と選定機種に対する販売契約を締結のうえ、納品することができるか	納品できる30点 区と取り決めの上であれば納品できる10点 販売契約を締結することはできない0点
⑩(総合評価)提案された補聴器は現物支給としてふさわしいか	最もふさわしい5点 ややふさわしい3点 ふさわしくない0点